

衛星電話サービス(ワイドスターⅡ)新しい通信衛星の運用開始について「FAQ」

項番	質 問	回 答
1	新しい通信衛星で、ワイドスターⅡのサービスを提供する仕組みについて教えてほしい	次期衛星サービス（ワイドスターⅢ）のために2020年2月に打ち上げた通信衛星の機能追加により、ワイドスターⅡでも利用できるビームを形成することが可能となりました。これまでの通信衛星と、新しい通信衛星の2つを同時に運用しております。
2	新しい通信衛星を利用するために、契約や手続きは必要か	新しい通信衛星の活用にあたり、お客さまにサービスの新規申し込みや変更申し込みをしていただく必要はございません。また、ご利用方法やご利用料金にも変更はございません。
3	新しい通信衛星と、これまでの通信衛星のどちらを受信しているのか分かるのか	お客様のワイドスターⅡ端末からは分かりません。特に意識することなくご利用いただけます。
4	外部アンテナをご利用の場合、微調整が必要な場合がある、とのことだが、具体的に説明してほしい	これまでの通信衛星と、新しい通信衛星は、地上から見ると方位角（水平方向）が異なりますが、外部アンテナが2つの衛星の中間方向を向いている場合は、問題ありません。これまでの通信衛星の方向に正対している場合は、微調整が必要な場合があります。詳細は営業担当者、またはドコモワイドスターコールセンターまでお問合せください。
5	これまでの通信衛星の電力低下が進行した場合、サービスに影響はないのか	仮に電力低下が進行した場合でも問題なくご利用いただけるよう、新しい通信衛星とこれまでの通信衛星の2つを並行して運用しております。ただし、外部アンテナをご利用のお客様で、アンテナ方向が正しく調整されていない場合、電力低下の進行によっては春蝕の期間（春分の日前後の10日間程度）の深夜帯に一時的なサービス影響を受ける可能性があります。アンテナ方向確認の詳細については、営業担当者、またはドコモワイドスターコールセンターまでお問合せください。

(2023/2/27 第1.0版)